

発行日 令和 6 年 3 月 25 日

🌸 日本体育大学

神奈川県

保護者会会報

タイトルロゴ 蒔谷 蘆 聖

2024

N

SSU
Go
for it!



神奈川県保護者会の皆様へ



日本体育大学
学長
石井 隆憲

神奈川県保護者会の皆様、日頃は日本体育大学の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

今回は現在の大学の状況について、お伝えしたいと思います。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わったことによって、大学はコロナ前と同じように活動し始めました。また令和5年度から新カリキュラムを順次、学部毎に導入を開始しています。児童スポーツ教育学部はすでに新カリキュラムの導入を始めました。令和6年4月からはスポーツ文化学部とスポーツマネジメント学部が、さらに令和7年4月からは体育学部と保健医療学部が、それぞれ新カリキュラムの導入を行います。これまで本学は大幅なカリキュラムの見直しを行ってきませんでしたが、この度、ようやくカリキュラムの見直しが終わりを、新しい時代に向けた学習体制が整いました。今後は、定期的なカリキュラムのチェックをしていく予定です。

加えて、この4月から本学はDX化の推進に向けての取り組みを始めます。コロナ禍を経験して、小学校、中学校、高等学校は、ICT機器を利用した教育が加速しました。ところが教員を養成している大学においては、そうした現状に対応した教育がおこなわれていないのが現状です。本学ではこうした学校現場の状況にも対応すべく、教育の在り方を根本的に見直すとともに、教職員の意識が現代社会に対応するように意識改革を行う取り組みをしていくことになります。これにより学生の皆さんにも新たな教育環境を提供できるものと思っています。

最後になりますが、日体大はまさに大きな転換期を迎えています。保護者会の皆様には引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



神奈川県同窓会
会長
山口 隆

3年間会長職を務めさせていただき、この3月をもちまして退職となります。会長として不の3年間であり、保護者会の皆様方にもご迷惑をおかけしたかと思っております。痛みればコロナの影響から、同窓会として計画していた各種事業等の開催に制限がかかり、殆ど実施できない状況となってしまったことや保護者や学生の皆様方との交流も不十分な状況であったことも残念でした。保護者会との交流や学生への支援事業は、本来なら更なる発展・充実を目指すべき重要課題と承知しております。この点につきましては、同窓会の引継ぎ事項として「数職講座」・「就職セミナー」の在り方を見直し、開催時期や対象者なども再検討したいと思っております。特に「就職セミナー」では保護者会の皆様方のご協力をいただく中で実施されている事業ですので、その在り方を一緒に検討していただけると幸いに存じます。保護者会の組織力をお借りしながら、同窓会活動を推進していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



神奈川県保護者会
会長
西野 久美

日本体育大学 神奈川県保護者会の皆様、日頃から保護者会活動にご協力、ご支援をいただき、ありがとうございます。2023年度会長を務めさせていただいております『西野久美』です。どうぞよろしくお願いいたします。出身は横浜市青葉区、健志台キャンパスの近くです。地元で馴染みのある日本体育大学に、保護者会として関わることができ光栄に思っております。今年度 神奈川県保護者会は、総会、講演会、就職セミナー、健志台&世田谷キャンパス見学会を無事に開催することができました。参加された保護者の皆様、ありがとうございます。来年度もより良い保護者会活動ができるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。日本体育大学の保護者会は、各都道府県別にあり、神奈川県は、全国で2番目に学生数が多い支部となっております。神奈川県同窓会の方にも協力いただき、セミナーも開催しています。大学で、保護者会なんて、と驚かれた方もいらっしゃると思いますが、私達と一緒に活動しませんか？現在、20名程の役員で活動しています。皆様のお力をぜひお借りしたいと思っております。神奈川支部を盛り上げていきましょう。

卒業式

令和5年3月15日(水)

日本体育大学の卒業式が世田谷キャンパスで開かれました。式は午前の部と午後の部に分かれて行われ、今年は保護者1名のみ出席することが出来ました。式では、一昨年の東京五輪で金メダルに輝いたボクシング女子フェザー級の入江聖奈さんが午前の部、柔道女子52キロ級の阿部詩さんが午後の部でそれぞれ卒業生代表としてあいさつをしました。阿部詩さんは「大学で学んだことや大切な人々の支えを胸に、自信を持って、もう一息、もう一息と輝かしい未来に向かって粘り強く歩み続けて参ります。」と力強く決意を述べていました。これは明治生まれの文豪・武者小路実篤の詩「もう一息」を引用したもので、五輪までの戦いやコロナ禍で苦しい時に思い返して『もう一息、もう一息』と心で唱えていたそうです。阿部詩さんだけでなく、ほとんどの卒業生が新型コロナウイルス感染症の対応に翻弄された大学生活だったと思います。しかし、かつてない困難を乗り越えた経験は今後の人生においてきっと役立つことと信じています。式を終えた卒業生の顔はとても晴れやかで清々しく、輝かしい未来に向かって希望に満ちあふれていました。



卒業生代表：東京オリンピック金メダリスト 入江聖奈さん

入学式

令和5年4月3日(月)

葉桜が萌ゆる季節の中、世田谷キャンパスで入学式が挙行されました。会場に入場出来ない程の多くの保護者に見守られ入学式に臨んだ新入生は1906名。多くの方々からの祝辞、応援団部指揮のもと校歌斉唱、そしてエールも頂きました。日体生としての自覚と責任が芽生えた事と思います。歓迎の辞は、2021年レスリング世界選手権女子53キロ級を制した藤浪朱里さんよりいただきました。

新入生宣誓は、WBC U-18日本代表の生盛亜勇太さんが行いました。「互いに切磋琢磨し、誰からも愛される良き社会人となるよう、日々精進する」と力強く述べました。

新入生全員が、これから始まる大学生活の中で可能性の芽を増やし、大きく成長することを期待申し上げます。



新入生宣誓：体育学部 体育学科1年生 生盛亜勇太さん

保護者会総合レポート

令和5年6月17日(土)

第1部 大学職員：北川浩「大学生生活とキャリア支援」

大学職員の北川浩氏より、学生支援について（生活・学習・就職・教職・ボランティア・交流・留学・健康管理センター）のご講話をいただきました。新1年生をはじめ、保護者にとって、とても興味深い内容でした。



第2部 キャンパス見学会

A～Dグループの4班に分かれ、野球部員の学生達の引率により、キャンパス見学を行いました。陸上競技場では、青空の下記録会が行われており、体操競技館では世界体操選手権金メダル保持者でもあり、助教の白井健三さんが熱心に学生指導をしていらっしゃいました。

その後、ボリューム豊かなメニューが揃った「グレートライオン食堂」を見学し、メニューの豊富さと栄養バランスの良さに圧倒されました。一般の方も学食の利用ができますので、是非、機会があればお立ち寄りください。



食堂の次は、大学ロゴの商品を取り揃えるササキスポーツへ立ち寄り、みなさん大学ロゴ入りの商品を手にしていました。



最後に訪れたのは野球場です。球場へ続く道は「ビクトリーロード」と呼ばれ、野球部員は伝統として走って練習に向かうそうです。野球場では、大阪桐蔭高等学校との練習試合が行われており、物凄い歓声が聞こえていました。普段、学生達がどんな所で勉強し、運動し、学生生活を送っているのかキャンパス見学会を通じて、うかがえることができました。当日参加された保護者の方より、「見学会に出席して良かった」とお声がけもいただき、本当に嬉しく思いました。



第3部 昼食

健志台キャンパス2号館5階にある「からくさカフェ」よりご提供いただいたバランスの良いお弁当を参加保護者の方々と一緒に味わいました。

第4部 総会

ご来賓の方々からご挨拶をいただき、2022年度の活動報告、収支決算報告、会計監査報告がなされ、2023年度の活動計画（案）、予算（案）審議が行われました。2023年度神奈川県保護者会会長に、西野久美氏が承認のもと就任し、新役員とともに新体制が発足されました。

第5部 講演会

講演会は保健医療学部救急医療学科鈴木健介准教授により、「スポーツ救急・最新のシミュレーターを使った心肺蘇生法」と題し、前半は学校事故の判例のまとめ、心肺蘇生の必要性、119番通報から病院搬送までの流れを講義頂き、後半は実際にシミュレーター人形を1人1体使用し、救急医療学科の学生たちの説明を聞きながら胸骨圧迫の方法を体験しました。保護者の皆様も真剣に取り組む姿が見られました。またこれだけの数のシミュレーター人形がある大学の設備の素晴らしさを実感いたしました。



駅伝予選会

令和5年10月14日(土)

第100回東京箱根間往復大学駅伝競走 76年連続76回目の箱根を駆ける

記念すべき節目の第100回大会。特例として関東学連以外の全国から57校のエントリーがありました。

本校は15キロ地点では圏外の16位でしたが、焦ることなく残り6キロ地点でチーム10番手(135位)の選手が出場全校の中で最も早くゴールを通過。「集団走」という戦略が見事な申し全体4位の好成績で本戦出場を手にしました。

予選会終了後就任4年目の玉城監督は「予選会通過が目的でなく、本来なら箱根でシード権を取りに行かなければならない大学」と気を引き締めて語りました。ここからさらにチーム全体のレベルが上がり、復路も終盤まで粘り強く1秒をつないでいく走りができれば6年ぶりのシード権獲得も期待できそうです。



日体フェスティバル

令和5年11月3日(金)～5日(日)

2023年11月3日から5日の3日間、世田谷キャンパスで第56回日体フェスティバル2023が開催されました。全日お天気にも恵まれ、沢山の来場者で賑わいました。

今年のテーマは『Over the Top』で“派手な”“期待を超えた”という意味を持つそうです。当日は、その言葉通り沢山の部活動による模擬店や縁日、また学園祭には珍しい神社のブースもあり日体生らしい学生達の活気で溢れどの会場も大変賑わっていました。

また、2日間開催された予約制の体力測定では、本格的な器具を使用し計測され、毎年自分の身体を知る為に楽しく参加していると言う声も聞かれました。他にも『お願いマッス

ル』というイベントも開催されました。日体大ならではの健康美とユーモアある企画で、大きな歓声と笑顔に包まれ、みんなで楽しんでいる姿が印象的でした。

最終日にはミニ実演会が開催され、沢山の演目が披露されました。間近で観られる演技はどれも圧巻でした。コロナ禍とは違いマスクの無い学生達の演技は様々な表情をみる事が出来、また演技を終えた学生達の笑顔がとても誇らしげで素敵でした。

なかなか子供達の頑張る姿を見る機会がない中、沢山の企画を満喫する事が出来ました。



第 60 回 体育研究発表実演会

令和 5 年 11 月 15 日 (水)

節目となる『第60回体育研究発表実演会』が11月15日(水)横浜アリーナにて開催されました。コロナ禍も明け、2年前に横浜アリーナで開催された時よりも多くの人で観客席が埋め尽くされていました。ナビゲーターは『NHK おかあさんといっしょ』第11代目体操のお兄さんである小林よしひさ

〈プログラム〉

和太鼓 (陸上自衛隊高等工科学校)

- 1 エッサッサ
- 2 集団行動
- 3 ハンドボール
- 4 ソングリーディング
- 5 少林寺拳法
- 6 新体操
- 7 体操
- 8 剣道
- 9 アルティメット
- 10 朝鮮舞踊 (朝鮮大学校)
- 11 チアリーダー
- 12 集団行動
- 13 フィナーレ

氏。今回の実演会のテーマは『Power of Sports』ということで、どの演目からもとてつもない学生のスポーツへの情熱、そしてパワーを感じ取ることができました。ほぼ毎回演じられている『エッサッサ』と『集団行動』からは美の表現と同時に創立 132 年の日体大生の誇りが伝わってきました。



就職セミナー

令和5年11月19日(日)

〈 第1部 就職セミナー 〉

今年度のかながわ日体未来塾『就職セミナー』では、

- ・講演『可能性は無限大』

講師 GEISHATEA 代表 佐伯侑梨加氏

- ・講義「就職に向けた心構えについて」

- ・パネルディスカッション「進路選択、就職活動、採用後の職業生活について」

- ・希望職種別分科会

という構成で実施されました。

佐伯氏には卒業から10年の精力的な活動、経験をもとに『可能性は無限大』というテーマで熱く語っていただきました。

中でも目標の自分になっている姿をイメージすることが大切、人との関わり合いを大切にという言葉が印象に残りました。パネルディスカッションではパネラーとして様々な分野に就職した4名のOB、高校教員採用試験に合格した現役学生からアドバイスをいただきました。

学生への言葉はもちろん、親の在り方についても学ぶことの多いとても厚みのあるセミナーでした。学生の参加が少なかったので、事前の呼びかけを積極的に行いたいと思いました。



〈 第2部 講演 〉

本校体操競技部OBであり、ソウル・バルセロナオリンピックのメダリストである池谷幸雄氏による講演が行われました。気さくな人柄でユーモアたっぷりにご自身のこれまでの歩みを語ってくださいました。

体操との出会いは4歳の時。

運動神経抜群のご両親を持つ池谷氏は当時からパワーが有り余っており、そのパワーを何かに向けさせなければと体操教室へ連れて行かれ、夢が『仮面ライダーになること』だったことから仮面ライダーになるための学校だと思い、通いはじめたのが体操を始めるきっかけとなったそうです。

大阪清風高校3年生の時に、西川大輔氏と共にソウルオリンピックに出場し団体で銅、個人床で銅、その後日体大4年生の時にバルセロナオリンピックに出場し、団体で銅、個人床で銀メダルを獲得した。

ソウルとバルセロナでメダルを2つずつ獲得したのは日本では池谷氏だけなのだそうです。

メダルの大きさ、重さは大会ごとに違い、前回の東京オリンピックのメダルはソウルのメダルの4倍の重さがあるのだとか。

今回はその4つのメダルをご持参くださり、「どうぞ触ってみてください」と惜しげもなく参加者に回していただきました。

本物のメダルを手にし、大きさや重さを感じてみたり、首に掛けて写真を撮ったり、皆さん貴重な体験を楽しんでいらっしゃいました。池谷氏は、学生時代は先輩後輩との上下関係が大変ではあったが、体操を通じて学んだことは財産であり今も役立っており、スポーツを通じて学んだことを社会に出てからも活かして欲しいと後輩である日体大生へエールを贈ってくださいました。



〈 第3部 キャンパス見学会 〉

恒例のキャンパス見学会は毎年好評です。保護者の方々が5グループに分かれ総務部の学生の皆さんが丁寧に説明を交えながら案内していただきます。

まずは、スポーツ整形外科を専門とする日体大クリニックをスタートし、スポーツ棟ではラクロス部、ボクシング部、レスリング部などの部室を回りました。中でも巨大で特殊な競技用トランポリンを間近で見た時は大きな感嘆の声が上がりました。またメインアリーナではバレーボール部の白熱する練習試合を観戦したり、スポーツトレーニングセンターではストイックに黙々と体力作りに励む学生の姿に目が止まりました。

今回、参加していただいた保護者の方からは「とても恵まれた環境の中で充実した学生生活を過ごしていると実感しました。数々のスポーツ選手や教員ほか多方面で活躍されている方々を多く輩出している実績に納得がいきしました。」と感想を述べられました。

この日はちょうど秋旻の青空と白いキャンパスのコントラストがとても鮮やかなうえ、学生達の日頃の鍛錬の様子、また充実した施設や設備をととても興味深くご覧いただくことができ、大変ご満足いただけたようでした。



体操部 第55回 演技発表会

令和5年11月24日(金)

体操部にとって1年の集大成となる演技発表会が、国立代々木競技場第二体育館にて開催されました。今回は、有料チケットでなく、クラウドファンディングで支援金を募り、返礼品として入場整理券を配布するという初の試みを行いました。目標金額120万円を大きく上回り、1500人もの観客の中で素晴らしい演技を披露してくれました。部員数100名からなる日体大体操部の他に5チームのゲストの演技も披露され、とても華やかな発表会となりました。

司会は、体操部OBでもある「ひろみちお兄さん」こと、佐藤弘道氏。「釣ったか! たんたんたん」という曲にあわせ、観客皆が立ち上がりフォークダンスをし、会場全体が一つになり盛り上がりました。「4チームマット」では、それぞれに創作した演技を同時に行いました。基礎的な体操の動作に、各チームの個性豊かな演技構成、そして1人1人の生き生きとした表情が印象的でした。また、男子体操「群」では、男子ならではの激しい動きを、女子体操「雫」では、白と水色の衣装を纏い、波打つような滑らかな美しい演技でした。

そして最後に披露された「Gym-mix2023」世界体操祭発表演技～結～は、息を呑むほどの迫力があり圧巻の演技でした。当日を迎えるまでどれだけの汗を流し、努力をしてきたことだろうかと思いがちでしたが、どの演技も華やかで、完成度が高く、演者の豊かな表情、息づかいまで観客席に届くような暖かさを感じる発表会でした。来年も是非見に行きたいと思います。



第100回 東京箱根間往復大学駅伝競走会

令和6年1月2日(火)～3日(水)

往路

曇り空の下、第100回という記念の箱根駅伝が大手町より217.1キロの旅がスタートしました。

スタート前には応援団、チアリーディング部の応援が沿道に響き、人一倍の盛り上がりを見せていました。途中沿道には各大学の旗を掲げて応援する人混みの中、各々の日体大の応援グッズを掲げ選手を鼓舞されている保護者やOB、OGそして同級生の姿を目にしました。

以前、神奈川県保護者会会長を務められた立石さんの姿もお見かけし、ご家族全員で選手に声援を送っていました。往路は21位と苦しい展開となりましたが、復路の選手に期待を込めたまま1日目終了いたしました。



復路

2日目も曇り空の下、箱根より復路がスタートいたしました。

復路は選手一人一人が実力以上の結果を残し、11位と大健闘。総合で16位という結果でレースを終えました。

残念ながら、念願のシード権獲得はなりませんでした。仲間を信じ支えてくれた方々の応援に応えて全力でタスキを繋げようと走る選手の姿勢は何にも代え難いものだと感じました。この舞台で走れる事に誇りを持って未来に繋げて欲しいと願わずにいられません。



部活レポート

インラインホッケークラブ

スポーツマネジメント学部
スポーツマネジメント科
中嶋 研志朗

私たちインラインホッケークラブは、部員40名で活動しています。

部員の約9割が大学からインラインホッケーを始める初心者で構成され、それぞれが高校までサッカー、野球、陸上など様々なスポーツに取り組んできました。

普段の練習は、キャプテンや4年生を中心に活動を行っており、今年度もチームは、「全国大会優勝」という目標に活動して参りました。そのために、試合の課題から多くの試行錯誤を繰り返して練習メニューの作成や全体ミーティングの場を設けることに取り組んできました。また、大会で北海道の帯広へ遠征や日光で夏期合宿など実施して、チーム力の向上を図りました。

私にとって、4年間はとてとあつという間でした。1年生の頃、初心者から始めたインラインホッケーで先輩たちに指導していただき、ついていくことだけでとても必死だった事を覚えています。今ではそんな私が4年生としてチームのことを考えて行動しており、もうすぐ卒業と思うと、時の流れの早さを実感しました。

私がここまで充実した楽しい4年間で過ごせたのは、先輩や後輩、指導者に恵まれたおかげであると実感しています。3年生と4年生の時の全国大会では、悔しい結果に終わりましたが、4年間の集大成として結果を残したい気持ちが強くありました。

これからのインラインホッケークラブには、さらに強い日体大DREAMSを見せてくれることを期待しています。辛く大変な時こそ、仲間頼って乗り越えれば、より一層の個人やチームとして強くなれると思います。先輩として陰ながら応援しています。

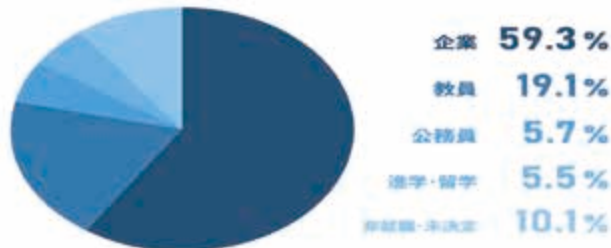


卒業後進路情報

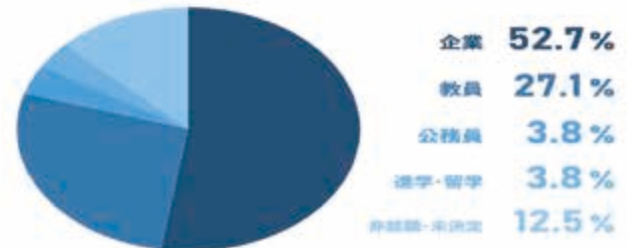
令和4年度卒業生のキャリア情報（令和6年2月1日現在）を紹介いたします。

体育学部

体育学科

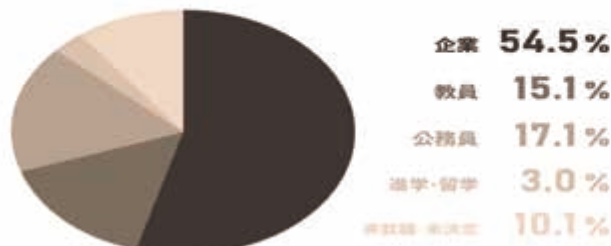


健康学科



スポーツ文化学部

武道教育学科

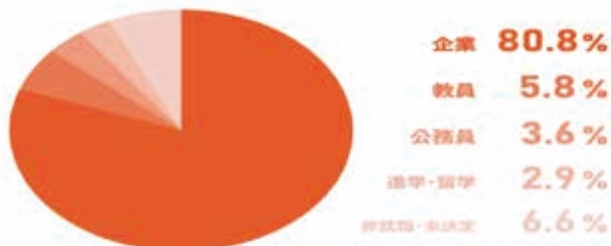


スポーツ国際学科

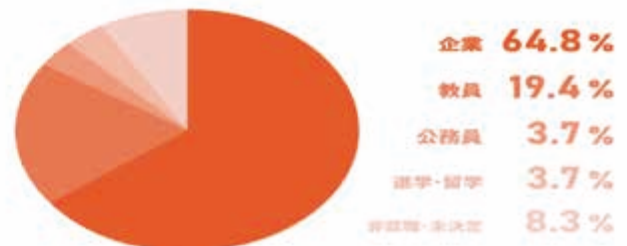


スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学科

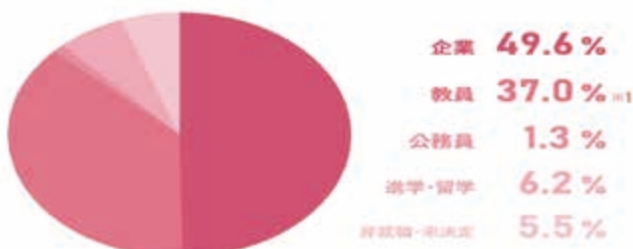


スポーツライフマネジメント学科

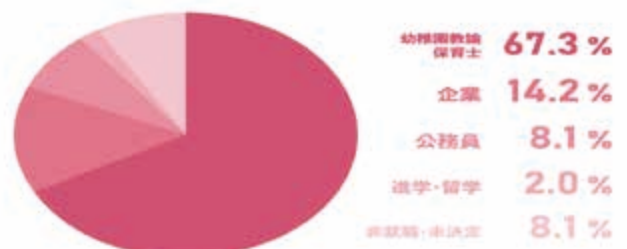


児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育学科 児童スポーツ教育コース

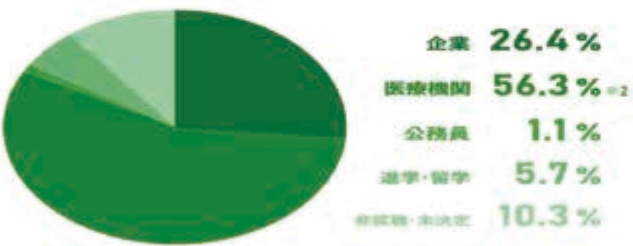


児童スポーツ教育学科 幼児教育保育コース

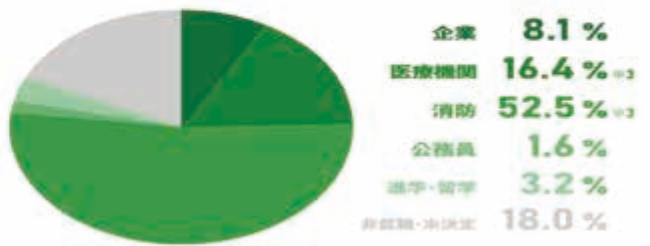


保健医療学部

健康医療学科



救急医療学科



※1- 教員に幼稚園教諭を含む ※2- 医療機関に柔道整復師を含む ※3- 医療機関及び消防に救急救命士を含む

日本体育大学神奈川県保護者会会則

総 則

(名称及び事務局)

第1条 本会は日本体育大学神奈川県保護者会と称し、事務局を会長宅に置く。

(目的)

第2条 本会の目的は次に掲げるとおりとする。

- (1) 学生の健全なる育成を図る。
- (2) 会員相互の融和、親睦と緊密な連絡を図る。
- (3) 日本体育大学（以下「大学」という。）と会員のリアルタイム双方向通信（大学からの現況や就職、クラブ活動等、会員からの質問、意見、要望等）のパイプ役となり大学に最大限の協力をし、支援する。
- (4) 本部保護者会に協力する。

(活動)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 広報誌等を発行する。
- (2) 会員相互の交流と親睦、情報の共有を図る。
- (3) 大学、本部保護者会及び各支部からもたらされる諸情報を収集する。
- (4) 学生の進路及び研究修養に関する支援をする。
- (5) その他必要な活動を行う。

(会員)

第4条 本会の会員は、大学（大学院を除く。）に在籍する学生の神奈川県在住の保護者又はこれに代わる者とする。

役 員

(役員)

第5条 本会は、原則として次の役員を置く。

会 長	1 名
副会長	3 名
書 記	4 名以上
総 務	4 名以上
広 報	若干名
会 計	4 名以上
監 査	2 名

- (1) 会長は本会を代表し、会務を総括し、会議の議長になる。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長不在のときは代理を務める。
- (3) 書記は議事を正確に記録し、各種の会議に報告する。
- (4) 総務は会議の会場手配及び懇親会の手配を担当する。
- (5) 広報は大学、本部保護者会、各支部からの情報の収集及び会報・その他の発行を担当する。
- (6) 会計は本会の会計事務をつかさどり、且つこれを正確に記録し、定例総会に報告する。
- (7) 監査は随時会計の状態を監査し、定例総会に会計監査の結果を報告する。

(選任)

第6条 役員は役員会において選出し、総会の承認を受ける。
(ただし、総会後に役員に選出された場合には、次期総会で承認を受けるものとする。)

2 同窓生は役員の3分の1以上を占めず、なお、会長にはならない。

(任期)

第7条 役員の任期は原則として1年とし、学生の規定在籍期間を越えない範囲で再任を妨げないものとする。

- 2 役員の任期は、定例総会終了後引き継ぎを完了するまでとし、会の運営が円滑に行われるよう協力するものとする。
- 3 役員に欠員が生じたときは、役員会の決議で選任補充できるものとし、その役員の任期は前任者の残任期間とする。

顧 問

第8条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は会長が役員会に諮って委嘱する。
- 3 顧問は原則として会長経験者とする。

総 会

第9条 総会は定例総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

- 2 定例総会は年1回開催し、役員の承認、決算及び監査の報告及び承認、活動報告、次期活動案及び予算案の提示及び承認、その他重要事項について審議する。
- 3 臨時総会は会長が認めたとき、又は会員の半数以上が要望したとき、開催することができる。

(役員会)

第10条 役員会は会長、副会長、書記、総務、広報、会計及び監査をもって構成する。

- 2 会長が必要のあるときは随時役員会を開き、会務を審議決定する。

(議決)

第11条 総会及び役員会の議決は出席者の過半数の同意を得るものとする。

会 計

第12条 本会の経費は本部保護者会からの支部活動補助費、寄付金その他の収入を充てる。

(会計年度)

第13条 会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。

雑 則

(委任)

第14条 この会則に定めるものの他、定例総会開催時期等必要事項は役員会で決定する。

(総会の代替措置)

第15条 諸般の事情により定例総会開催が不可能と役員会が判断した場合は、役員会を定例総会に代わって開催できるものとし、議決事項を有効とする。

この場合、決算報告等は会報誌等に掲載し報告するものとする。

第16条 会則を変更する場合は、役員会の議を経て決定し、総会において出席者の3分の2以上の賛成によって改正することができる。

付 則

1. この会則は、平成7年4月1日から施行する。
2. 一部改正したこの会則は、平成9年4月1日から施行する。
3. 一部改正したこの会則は、平成10年4月1日から施行する。
4. 一部改正したこの会則は、平成11年4月1日から施行する。
5. 一部改正したこの会則は、平成14年4月1日から施行する。
6. 一部改正したこの会則は、平成17年4月1日から施行する。
7. 一部改正したこの会則は、平成28年4月1日から施行する。
8. 一部改正したこの会則は、令和2年4月1日から施行する。
9. 一部改正したこの会則は、令和3年4月1日から施行する。

保護者会活動事業報告

令和5年度は26名の役員で活動しました。構成は会長、副会長、会計監査、総務、書記、会計、広報です。

役員会は保護者会年間行事や同窓会協賛お手伝いなど、月に1回土曜日の午前中、健志台キャンパスで年間10回前後開催します。

各担当の主なお仕事は、総務は行事の会場準備、飲食手配、抽選会の景品購入手配など。書記は役員会の議事録作成と配信。会計は保護者会での活動経費の管理。広報は会報誌の作成と発行をメインに行事の会場案内・設営のお手伝い、キャンパス見学会の参加者同行などになります。

役員会での活動を通じ、役員会だけでなく教授陣・OBの皆様や学生たちとの接点が増え、楽しみながら「日本体育大学」を一層深く知ることができます。一緒に保護者会を盛り上げていきませんか?興味のある方は、以下メールアドレスに連絡をください。

nssukanagawahogoshakai@gmail.com

いつでも皆様の参加をお待ちしております。

予算・決算

(単位: 円)

令和四年度決算報告書		
項 目	収 入	支 出
支部活動補助費	1,803,000	
参加費収入等	0	
雑収入	6,013	
前年度繰越金	1,442,656	
総会・懇親会費		147,746
活動費		1,135,631
会議費		61,160
通信費		394,733
印刷・事務費		435,905
雑費		3,685
予備費		33,043
諸費支払合計		2,211,903
次年度繰越金		1,039,766
合計	3,251,669	3,251,669

(単位: 円)

令和五年度予算		
項 目	収 入	支 出
支部活動補助費	1,858,000	
参加費収入等	7,000	
雑収入	13	
前年度繰越金	1,039,766	
総会・懇親会費		450,000
活動費		850,000
会議費		20,000
通信費		350,000
印刷・事務費		500,000
雑費		5,000
予備費		729,779
諸費支払合計		2,904,779
次年度繰越金		0
合計	2,904,779	2,904,779

行 事

令和五年		令和六年
6 月	令和五年度総会 特別講演会: 保健医療学部准教授: 鈴木健介 「救命医療に関する講演と実演等について」 健志台キャンパス見学会	1 月 第100回東京箱根間往復大学駅伝応援 3 月 令和五年度保護者会会報誌発行 4 月 入学式・保護者会紹介チラシ配布 (予定) 6 月 令和六年度総会 (予定)
10月	第100回東京箱根間往復大学駅伝予選会応援	
11月	第56回日体フェスティバル【世田谷キャンパス】	
11月	就職セミナー・世田谷キャンパス見学会 卒業生とのパネルディスカッション就職セミナー オリンピックメダリスト池谷幸雄氏による講演	
12月	第60回体育研究発表実演会【横浜アリーナ】	

令和五年度保護者会役員会

令和五年	
6月17日	第一回役員会【健志台キャンパス百年記念館】
7月15日	第二回役員会【健志台キャンパス百年記念館】
9月16日	第三回役員会【健志台キャンパス百年記念館】
令和六年	
1月17日	第七回役員会【健志台キャンパス百年記念館】
3月	第八回役員会(予定)
4月	第九回役員会(予定)



日本体育大学保護者会

<http://www.nssu-apg.jp/>

全国の保護者会支部から活動報告が寄せられます。

日体大 <http://www.nittai.ac.jp/> からリンクされています。



編後記

今年も会報誌の編集にあたり多くの皆様の協力を賜り、そして保護者同士助け合い、共に活動できたことに感謝申し上げます。今年は4年ぶりに制限のない活動ができ、試合会場でも声だし応援が復活しました。グラウンドでプレーする選手に送る声援がどんなに心強く選手の後押しになったことでしょう。当たり前の日々がとても幸せなんだと改めて感じた1年でもありました。保護者会を通じて大学での子どもたちの活動に携わることができ心に残る経験となりました。今後とも保護者会として子どもたちの前途への希望、結束、そして日本体育大学の存在意義を、お伝え出来ればと願っております。

